

ブラッシュアップ熊毛

熊毛教育事務所だより
令和4年度 第1号

令和4年8月1日発行

熊毛らしさを生かした1学期の特色ある教育活動の展開

熊毛地区には、豊かな自然や素晴らしい地域文化、伝統芸能、そして何よりも地域の方々の学校教育に対する大きな期待や熱い思いがあふれています。地区内のそれぞれの学校では、地域との連携や学校の特色を生かした熊毛らしい特色のある教育活動が展開されました。

地域文化（インギー鶏）の伝承（花峰小）



1894年、イギリスの帆船「ドラメルタン号」が座礁し、南種子町下中の住民によって救助されました。その御礼のしるしとしてインギー鶏11羽が送られ、村人は船員との交流を後世に伝える

べく、これを食せず大切に育て、太平洋戦争中、戦後の食糧難の時も、種を混じわらせることなく大切に育てたそうです。このようにして守られたインギー鶏は、平成25年4月23日に「県指定文化財（天然記念物）」に指定されました。

花峰小学校では昭和56年から、郷土に伝わる貴重な歴史を子どもたちの学びに生かしています。文化財保護の観点ばかりでなく、**生命尊重、親切思いやり、郷土愛、信頼友情、国際交流を育むといった道徳教育にも通じ、学校教育の柱**となっています。

先人たちの思いを受け継ぎ、子どもたちは土日も休むことなく、毎日、インギー鶏のお世話をし、後世へ伝えるべく頑張っています。

学校独自のこだわりの視点（野間小）



「皆さんどうですか」「いいと思います」（拍手）という光景を学校ではよく見かけます。しかし、友達の考えと自分の考えを比較し、何かに気付いたり、深めたりしているのだ

ろうかと思ってしまう。

野間小学校では、発表することや表現することを、これまで推し進めてきましたが、単なる発表大会で終わっていないかという反省の下、こだわりの視点を「いっぱい話す」「たくさん書く」「しっかり振り返る」と設定しました。「しっかり振り返る」については、授業の終末だけに行うのではなく、「めあてに対して」「児童が発表した意見に対して」「自分の学びに対して」など様々な学習活動の中において振り返ることを意識して授業の改善を進めています。

また、研究授業については、初任者研修も含め、1学期だけで6回行い、**児童自らが学ぶ価値や喜びを実感できる授業改善を追究**しています。

地域連携での体験活動（伊関小）



伊関小学校の児童24人が学校近くの港に集まり、マダイの稚魚千匹をバケツで海に放流しました。子どもたちは稚魚の成長を願いながら、元気に泳いでいく姿を見守っ

ていました。

このマダイの放流は、子どもたちに豊かな海について考えてもらおうと、伊関の沖で海砂の採取事業などを行っている企業が企画したものです。

地元の漁師らも子どもたちのためならと協力し、沖合からトコブシの稚貝、3500匹放流しました。

地域と学校が相互に連携・協働して行われた行事であり、地域全体で子どもたちに学習の場を提供し、また、地域創生へとつながる活動となりました。

屋久島の豊かな自然とともに（永田小）



ウミガメの産卵の様子の観察、卵の移植、孵化までの管理、海への放流、孵化場の事後調査等、卵を孵化させるためには、孵化前後だけでも、ウミガメに

ついて知らなくてはならないこと、調べなくてはならないことがたくさんあります。

このような経験をした永田小学校の子どもたちのウミガメに対する思いは、ただ「かわいい」という感情だけではないようです。「元気でね」と声をかける子ども、カメが見えなくなってもいつまでも見送り続ける子ども様々だそうです。

ウミガメを育てることから、**環境教育、命の教育、郷土愛、調べ学習等、多方面の学びにつなげて**います。

熊毛の子は熊毛で育てる

「チーム熊毛」での学力向上の推進



地区中学校・高等学校学力アップ推進会議

5月10日に屋久島町立中央中学校、5月17日に西之表市立種子島中学校で屋久島・種子島両地区の1回目の会議が行われました。「熊毛の子は熊毛で育てる」の基本理念のもと、中高の先生方が一緒に授業参観を行い、中・高の学力の現状や課題について共通理解を図りました。

各教科ごとの分科会では、「ICTを使った授業を通して、ねらった資質・能力をどのようにして身に付けさせるか」「自分に必要な学びを自分で考えて学ぶ姿勢をどのようにして育てていくか」「読解力や語彙力、計算力などの基礎的な学力を身に付けさせるにはどうすればよいか」など、小・中・高の12年間を見据えた学力向上への方策について熱心に協議し、共通実践事項の確認がなされました。

熊毛地区の学力を支えているのは、「協働的な活動を効果的に取り入れ、知的好奇心を喚起し、楽しく分かる探究型授業の実践」と「小規模校の強みを生かした個に応じた丁寧な指導」にあります。基礎的な学力を身に付けさせる取組も今年度、熊毛地区の学力向上策として行っていきます。

◆ 第2回会議（屋久島地区）10月18日 屋久島高校（種子島地区）10月25日 種子島高校

交通事故・違反0宣言

1学期が終わり、夏休みに入りました。教職員のみなさんは、長期休業中に普段より遠出をするなど運転する機会が増えるのではないのでしょうか。本地区では、今年度、教職員による交通事故が2件発生しています。交通事故・交通違反の要因の多くは、安全確認不足や漫然運転、焦り等によるものです。教職員は、子どもたちに指導する立場でもありますので、交通法令遵守について、改めて自覚し、運転する際は安全確認や制限速度の確認等を怠らず、交通事故・交通違反「0」を目指しましょう。

～8月は不祥事防止強化月間です～

基本姿勢はMom

～地区人権教育授業実践研修会～

◆ 令和4年6月17日(金) 南種子町立平山小学校
中種子町、南種子町の小中学校及び種子島中央高校、種子島養護学校の人権教育担当者を対象に開催しました。当日は、県人権同和教育課の村田美映子指導主事による講話や平山小学校の園田哲也教諭による社会科の授業を通して、研修を深めました。出席者は、人権教育を進める上での課題と解決するための具体策について、熱心に話し合いました。



安心、安全な夏!



◆感染症予防

基本的な感染対策は変わりませんが、最新の対策を講じ感染拡大を防ぎましょう。なお、マスクの着用については、熱中症を考慮しましょう。

◆熱中症事故防止

暑さが本格的になり、熱中症事故が見られるようになってきました。暑さはまだまだ続き、今後も熱中症事故が起こりうる環境です。そこで、以下のこと気を付け、熱中症事故防止に努めましょう。

☆ 予防の5原則

- ① 環境条件に応じた運動とこまめな休憩
- ② こまめな水分・塩分補給
- ③ 運動の順序の工夫
 - ・ 軽めの運動から徐々に慣らす。
- ④ 吸湿性や通気性のよい服装と帽子の着用
- ⑤ 暑さへの耐性の個人差の把握
 - ・ 指導中も常に健康観察をする。
 - ・ 無理に運動をしない、させない。

☆ 応急処置

- ① 涼しい場所に寝かせ、衣服を緩め、水分や塩分を補給する。
- ② 少しでも意識障害がある場合は、救急車を要請し、体を冷やす。

※ 熱中症警戒アラートで地域の状況を確認し、活動の実施の判断をしましょう。

ばるどを学そさら言ど然い明阿こを動ふはのゆは起見はもにも詠
 。よも`びん`にうもりうか弥のしにと日中る夏こ上夜`照丘ん
 うた一のな生言また。°り陀`てい何常でや休りげ空そらもだ浄る里▼線つ島日
 なち人場感きえでち光学に如月ほたかの`かみにえたののさ村歌土人は`がき全の屋
 (もかでと動てばもにを校諭来かげいよ気たりど時`心氣さいみ意・ぞどのて全ら明出
 文責)で見多てもる学いらべ育て慈の▼うづ前たのい▼につやるんは法すも至見体しかか
 所長)な出くのた幸ぶがすてもい悲歌のまなきらち流る学しき感。な`然む眺らえの`りけ
 れれ子力す`しさは子たと月、`験感、`にれ。校か、動で月山の`むぬた稜くがた